

# その救急車、本当に必要ですか？ あなたにできることを考えよう！

近年、救急車の出動件数とその搬送人数は増加傾向にあり、救急隊が現場に到着するまでの時間も遅くなっています。限られた救急車を有効活用し、緊急性の高い症状の方をできるだけ早く搬送するため、今号では、救急車の適正な利用や緊急時の対応など、皆さんができることについて、Q&A方式で紹介します。



## Q 熊本市では何台の救急車が稼働しているの？

A



熊本市消防局では27台の救急車が稼働しています。

出動件数は、令和6年で46,580件と過去最多になりました(前年比1.4倍)。

救急車の要請が急増したことにより、搬送困難事案※が多発しているほか、緊急性の高い、本当に救急車が必要な傷病者のもとへの救急車の到着が遅れてしまう可能性があります。限りある救急資源を守るためにご協力をお願いします。

※病院へ収容依頼を行った回数が4回以上かつ、救急隊の現場滞在時間が30分以上の救急事案。

突然の頭痛、胸の痛み、呼吸や意識がないなど、明らかに緊急を要する場合には迷わず119番通報してください！

あなたにできること

救急車を呼ぶか迷ったら#7119または#8000の電話相談を活用しましょう。

### #7119

携帯電話・スマートフォンからつながります。  
ダイヤル回線電話、IP電話、光電話からは

☎03-6456-3290

おおむね15歳以上の方は  
**救急安心センター**

(24時間365日対応)

夜間の急な病気やケガに関する相談に対して、応急処置や医療機関情報をアドバイスします。



### #8000

携帯電話・スマートフォンからつながります。  
ダイヤル回線電話、IP電話、光電話からは

☎096-364-9999

おおむね中学生までのこどもは  
**熊本市子ども医療電話相談**

(平日:午後7時～翌朝午前8時まで)

(土曜:午後3時～翌朝午前8時/日曜・祝日:午前8時～翌朝午前8時)

こどもの急な病気やケガに関する相談に対して、看護師が電話でアドバイスします。



※匿名で相談できますが、始めに、相談される方の年齢、性別、お住まいの市町村名を相談員にお伝えください。相談は無料(別途通話料がかかります)。



## Q 普段からできる、上手な医療のかかり方は？

A

適正受診3カ条を心がけましょう！

(1) かかりつけ医を持つ！ (2) 診療時間内に受診！ (3) 電話相談を活用！

休日や夜間に急を要しない受診をすることは、救急医療のひっ迫につながります！体調に不安を感じた時は、まずかかりつけ医に相談しましょう。休日・夜間に医療機関を受診するか迷ったり、体調不良やケガへの対処などについて相談したい時は、#7119や#8000の電話相談を活用しましょう。



詳しくは、こちら



救急医療啓発動画を  
市公式YouTubeで公開中！



救急医療を守るヒーロー「救急医療 マモルンダーマン」が、安心して受診できる救急医療を守るために、必要不可欠な適正医療の実践について紹介する動画です。ぜひご覧ください。

動画は、こちら



あなたにできること

適正服薬も健康を守るために重要です。

かかりつけ薬局を持ち、おくすり手帳を活用しましょう。

問い合わせ／医療対策課 ☎096-364-3186